環境経営レポート　2022(R4)年度版

活動期間：令和4年7月1日～令和5年6月30日（1年間）

令和5年7月29日発行

株式会社　コーセー
本社〒123－0841東京都足立区西新井二丁目32番18号
TEL03－5837－0720　FAX03－5837－0725
支店〒136－0071東京都江東区亀戸九丁目21番13号
E-mail:ko-se-kanribu@ba.wakwak.com

目次　　頁

1 組織の概要　1

2 対象範囲　1

3 環境経営方針　2

4 環境経営目標　3

5 環境経営計画　4

6 環境経営に基づき実施した取り組み内容（実施体制を含む）　5

7 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価
並びに次年度の環境経営目標及び計画　6.7

8 環境関連法規などの確認及び評価　8

9 代表者による全体の評価と見直し　9

1 組織の概要

事業所名　　株式会社コーセー

代表者　　代表取締役　田中　芳夫

所在地　本社　　〒123－0841東京都足立区西新井二丁目32番18号
TEL03－5837－0720　FAX03－5837－0725
江東支店　〒136－0071東京都江東区亀戸九丁目21番13号
E-mail:ko-se-kanribu@ba.wakwak.com

環境管理責任者・連絡担当者　　新納　裕穏

TEL　　03－5837－0720
E-mail:ko-se-kanribu@ba.wakwak.com

事業の概要　　1.総合建設業
2.建築土木企画設計
3.営繕工事
4.前号に付帯する一切の業務
「公共施設・共同住宅・特殊建築（古民家改築）」

事業の規模
売上高　　8億7千7百万円
従業員数　　本社 8人
本社建物　　180.64㎡

設立年月日　　平成9年10月1日
建設業許可番号　　特30-第108917号
建設業許可年月日　　平成31年2月19日
特定建設業　　建築、とび・土工、タイル・れんが・ブロック、板金、塗装、内装大工、屋根、鋼構造物、ガラス、防水、建具
一級建築士事務所登録番号　第45833号

2　対象範囲

対象組織　　本社：東京都足立区西新井2-32-18

江東支店：東京都江東区亀戸9-21-13

対象活動　　全組織を対象とする。

対象期間　　令和4年7月1日⇒令和5年6月30日

3　環境経営方針

環境理念

株式会社コーセーは建設工事業の事業活動を通して、地球の為になり、社会の健康を考えたエコ社会を構築する手助けをする為に環境負荷を低減し、資源の再利用を積極的に推進して、元気な地球を取り戻す為の継続的な努力を行ってまいります。

活動指針

1　環境経営に積極的に取り組む為に、環境経営システムを構築し、継続的な環境負荷の低減に取組みます。

2　環境への取り組みとして、特に次の事項に取組みます。

①使用する燃料や電力を節約し、環境負荷の少ない資材を使用し、二酸化炭素排出量の削減

②建設廃材の発生抑制と分別の徹底により、リサクル資源増量の促進

③使用する用水の総排水量の削減

④塗料及び接着剤等の化学物質の適正管理に努めます。

⑤環境に関する法律・規則・協定を遵守します。

⑥地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域と共生しての環境保全の推進

3　新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止に努めます。

4　環境経営システムの内容を、全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

以上を誓約いたします。

2013年4月1日　制定
2020年7月1日　見直し
株式会社　コーセー

田中　芳夫

4　環境経営目標

当社は、次の目標を掲げて環境活動に取組みます。

基準年度をR2年度としてR3年度からR6年度までに3％（毎年1％）の削減を目標にする。

（新規3年計画初年度）

項目	令和2年7月～令和3年6月 3年計画基準年度	令和3年7月～令和4年6月 －1%目標	令和4年7月～令和5年6月 －1%目標	令和5年7月～令和6年6月 －1%目標	経営目標 経営計画
事務所　電力	16018kWh （6951.81kg-CO2）	15858kWh （6882kg-CO2）	15699kWh （7095.9kg-CO2）	15542kWh （7025kg-CO2）	1%削減を目標とする
現場　電力	14368kWh （6235.71kg-CO2）	14224kWh （6173kg-CO2）	14082kWh （6365.1kg-CO2）	13941kWh （6301.3kg-CO2）	空調の温度管理徹底 不要部分の照明消灯
合計	30386kWh （13187.52kg-CO2）	30082kWh 13055kg-CO2）	29781kWh （13461kg-CO2）	29483kWh （13326.3kg-CO2）	
ガソリン	6534ℓ （15159.60kg-CO2）	6469ℓ （15008KG-CO2）	6404ℓ （14858kg-CO2）	6340ℓ （14709kg-CO2）	1%削減を目標とする 現場への往復を最小限に止める
事務所 都市ガス	211㎥ （455.76kg-CO2）	209㎥ （451kg-CO2）	207㎥ （446kg-CO2）	205㎥ （442kg-CO3）	
二酸化炭素排出量 合計	28,802 kg-CO2	28,515 kg-CO2	28,765 kg-CO2	28,477 kg-CO2	
水使用量 事務所、現場　合計	165㎥	163㎥	161㎥	159㎥	1%削減を目標とする 現場：各所長 事務所：松山
事業所　一般廃棄物	0.23t	0.23t	0.22t	0.21t	1%削減を目標とする
現場　産業廃棄物	208.53t	206t	204t	202t	矮小現場でも可能な限り分別する 工期の短縮を心掛ける
合計	209t	206tt	204t	202t	
苦情	0件	0件	0件	0件	0件目標 報告・連絡 必須

※当社の使用する塗料及び接着剤・化学物質は、PRTR制度に係るものは使用していないが、適正管理とする。

※電気排出係数は0.434kg-CO2/kWhを使用している。（令和4年度より0.452kg-CO2/kWhを使用）

ガソリン：排出係数2.32kg-CO2/L、都市ガス：排出係数2.16kg-CO2/m3

※令和3年度からの3ヶ年中期目標は令和2年度目標値から毎年1％ずつ下げる事にする。

5　環境経営計画

5-1　環境活動計画（令和4年度）

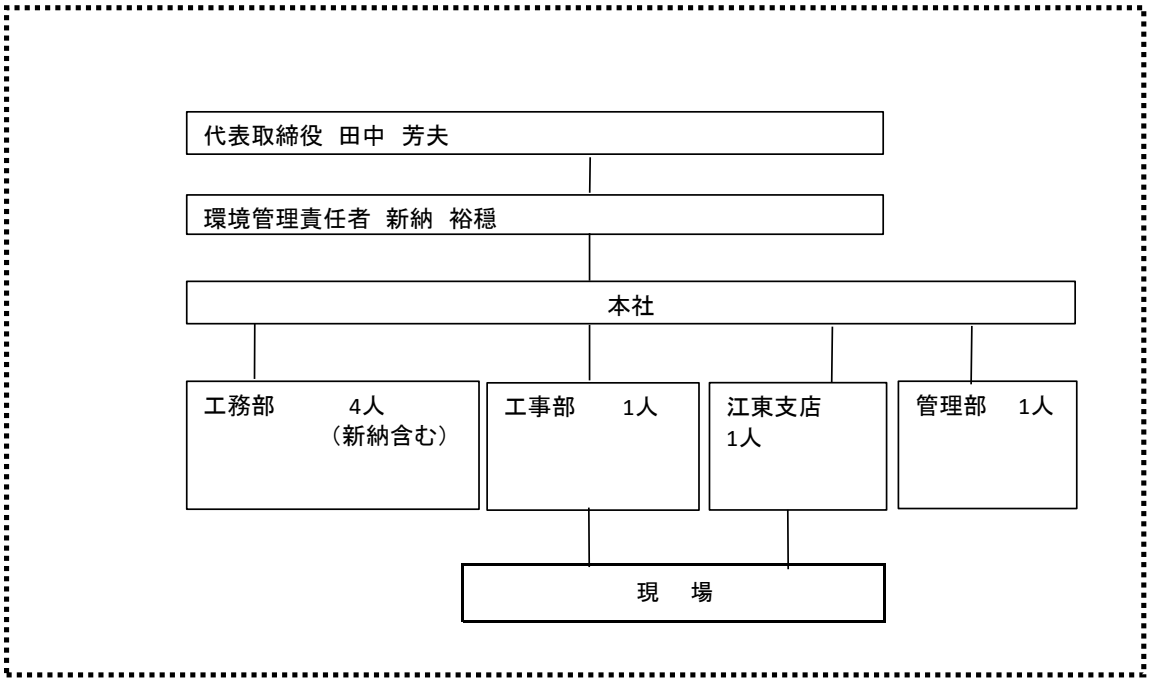
	責任者名		環境活動計画	R4/7	8	9	10	11	12	R5/1	2	3	4	5	6
CO2 排出量の削減	事務所 現場	松山	電力使用量の削減 ①不要照明の消灯の徹底 ②不要時に空調を使用しない ③不要時のPC 電源のオフ ④エアコンの温度管理の徹底（夏場28、冬場20°）　⑤工期短縮に努める	未使用電気消灯・昼休み消灯											
				空調　夏28℃					空調　冬20℃					空調　夏28℃	
	現場	新納	ガソリン、軽油の削減 ①エコドライブの徹底 ②アイドリングストップ ③急発進、急ブレーキの抑制 ④適正空気圧の維持、積載の抑制	アイドリングストップの徹底、速度、積載量の遵守											
					教育						教育				
	事務所	新納	都市ガス使用量の削減 ①器具の適正使用及び管理												
水使用量の削減	事務所	新納	①節水ラベルによる注意喚起 ②バルブの調整による適正水圧の管理	節水シール表示、呼びかけ							教育				
	現場	新納	・水使用量の削減 ①節水の徹底と啓蒙	節水シール表示、呼びかけ											
廃棄物排出量の削減	事務所	松山	一般廃棄物の削減 ①ごみの分別の徹底 ②社内資料の電子化の推進 ③裏紙使用の推進 ④両面・集約印刷の推進	紙のリサイクル推進、分別徹底、											
					分別教育						分別教育				
	現場	新納	産業廃棄物の削減 ①発生材の分別及びリサイクルの徹底 ②発生材の削減	各現場　マニフェストの適正運用、分別徹底、リサイクル促進、積載荷重確認徹底											
苦情の発生削減	全社	新納	①低騒音型建設機材の検討・採用 ②作業工程の工夫等影響の最小限化	施工計画に沿った施工											
					教育						教育				
化学物質の適正管理	全社	新納	①建設現場等における化学物質は必要最小限の使用量になるように各協力業者に指導する	数量把握											
						依頼の徹底									
四半期計画				計画	第一クール		第二クール			チェック	第三クール		最終クール		評価

6　環境経営計画に基づき実施した取り組み内容

6-1　実施体制

株式会社コーセー 実施体制図及び役割・責任・権限表

作成者　新納　裕穏
作成日　2020年7月1日



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画の制定 ・全体の評価と見直し ・環境経営全般（責任者を任命する）の権限 ・経営資源の提供 ・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
環境管理責任者	・エコアクション21の文書作成及び保管 ・代表取締役に活動結果の報告 ・環境マネジメントシステム全体に関する運営及び周知する権限
全従業員	・環境方針の確認及び理解 ・環境マネジメントシステムの実施

7　環境経営目標及び環境経営計画の実施・取組結果とその評価

7-1 取組結果

活動指針	環境目標			実績（達成率）	評価	実施状況
	内　容	中長期目標 令和4（2022）年度	今年度実績 令和4年（2022）年度 令和4年年7月～ 令和5年6月			
1 建設事業活動を通じて、二酸化炭素の発生抑制、排出削減に取り組みます。	101 事務所電力使用量を削減する。	15699kWh （6813kg-CO2）	18350kWh （8294.2kg-CO2）	86%	×	節電の徹底ができなかった
	102 現場電力使用量を削減する。	14082kWh （6111kg-CO2）	3669kWh （1658.38kg-CO2）	384%	◎	現場が少なかった
	103 電力使用量合計	29781kWh （13461kg-CO2）	22019kWh （9952.58kg-CO2）	153.3%	◎	現場が少なかった
	104 ガソリン使用を削減する	6404ℓ （14858KG-CO2）	4749.72　ℓ （11019.35kg-CO2）	134.0%	◎	現場が少なかった
	105 ガス消費量を削減する。	207㎥ （446kg-CO2）	128　㎥ （276.48kg-CO2）	161%	◎	現場が少なかった
	106 二酸化炭素排出量を削減する。	28229　kg-CO2	21248.42　kg-CO2	135.4%	◎	現場が少なかった
2 建設事業活動を通じて、水使用量の削減に取り組む。	201 事務所、現場の総使用量を削減する	161㎥	530　㎥	30%	×	・現場使用は少なかった・現場での水道の契約が義務付けられ増加する。今後見直しが必要
3 建設事業活動を通じて、廃棄物の発生抑制、排出削減に取り組みます。	301 事務所一般廃棄物の削減、リサイクルの促進	0.22t	0.24t	91%	△	裏紙使用等努力を要する
	302 現場産業廃棄物の削減、リサイクルの促進	204t	86.06t	237%	◎	現場が少なかった
4 製品・サービスの向上、環境配慮	苦情・クレームをなくす	0件	0件	—	○	施工前・施工中の近隣対応が徹底できた。
活動の実施と取組結果						
5 塗料及び接着剤等の化学物質等の適正管理に努めます。	501 化学物質の適正管理	適正に管理	適正に管理した	—	○	適正管理意識による活動（数量の把握と確認、保管状況の確認）ができた。
6 事業活動において適用される環境法規制等を遵守します。	環境法規制等を遵守	法規制を遵守	法規制を遵守	—	○	定期的な遵守状況の確認ができた。
7 従業員一人ひとりが環境保全意識を高めつつ、環境経営システムの実施、運営に全員参加で取り組みます。	401 環境方針の全社的展開	全員での取り組み	全員での取り組み	—	○	周知の成果が実った。

※実排出係数は電力：0.4520.452kg-CO2/kWh、ガソリン：2.32kg-CO2/L、都市ガス：2.162.16kg-CO2/m3を使用している。

◎十分達成した（100%以上）　○達成できた（100%）　△努力が必要（90%以上）　×達成できなかった（90%未満）

7-2　　環境活動結果に基づく次年度の取組内容

環境活動計画	活動結果	次年度の取組内容
事務所・現場 CO2 排出量の削減 ①不要照明の消灯の徹底 ②不要時に空調を使用しない ③不要時のPC 電源のオフ ④エアコンの温度管理の徹底 （夏場28°、冬場20°） ⑤エコドライブの徹底	事務所電力・水道使用量増加。	継続して実施し、目標達成に努める。
事務所・現場 ①水栓管理者による管理 ②バルブの調整による適正水圧の管理	増大した	細かいリフォームの現場にて水道の使用がなくても契約が義務付けられたため目標の見直しが必要。
事務所・現場 廃棄物排出量の削減 ①ごみの分別徹底 ②社内資料の電子化推進 ③裏紙使用の推進 ④両面・集約印刷の推進	事務所可燃ごみの増加がみられる	裏紙を使用、無駄の削減に努める
事務所・現場 塗料及び接着剤等の化学物質の適正管理	適正に管理した。	継続して実施する。
事務所・現場 製品・サービスの向上、環境配慮 苦情・クレームをなくす	苦情はなかった。	継続して実施する。

8　環境関連法規などの確認及び評価

8-1　環境関連法規等の順守状況の確認

弊社の遵守しなければならない環境関連法規等には、廃棄物処理法（産業廃棄物管理票等状況報告書提出）、建設リサイクル法、大気汚染防止法、建築基準法、労働安全衛生法、騒音振動規制法、資源有効利用促進法、家電リサイクル法、省エネルギー法、東京都環境確保条例、東京都廃棄物の処理及び再利用に関する条例、東京都生活環境保全に関する条例、フロン排出抑制法等がありますが、これらの遵守状況ついては定期的に自主チェックして確認しています。

環境関連法規等への違反はありません。

関係当局よりの違反等の指摘及び関連する訴訟は過去3年間ありません。

9　　代表者による全体の評価と見直し

見直し日時	2023年7月25日(火)13:00～	場所	本社事務室
参加者	代表取締役　田中　芳夫　　環境管理責任者　新納　裕穏		

見直し情報	環境管理責任者	代 表 者コメント
①環境関連法規制等一覧表 遵守状況のチェック結果	事業活動に関連する環境関連法規を一覧表にとりまとめ、順守状況を確認した。	環境関連法規の遵守を行うこと。
②環境目標の達成度	活動成果は徐々に後退している、目標値の変更も検討が必要となった。	達成度にばらつきが有る。活動を徹底して、目標達成に努めるうこと。
③環境活動計画の実施状況	コロナ禍で大半の活動ができなかった。	できる活動をを実施すること。
④問題点の是正・予防処置の状況	1年間の活動期間で、水道・電力の使用量が増大し、次期目標値の見直しが必要となった。	仕事量・活動量に見合った目標を検討すること。
⑤外部からの苦情の有無	1年間の活動期間で、外部からの苦情はなかった。	今後も外部からの苦情等がないように取組むこと。
⑥前年度の指示事項	前年度も電力使用量・廃棄物削減の目標達成ができなくて是正の指導があった。	会社全員が環境方針を認識し、環境活動に取組むこと。特に事務所の電気使用量の削減を徹底すること。
社長コメント及び指示事項	全社員がEA21活動の意義を理解し、今年度の環境目標達成に努めたが、実績にばらつきが出た。この5月にコロナ禍があけたので今後も更に目標が達成できるように努力してもらいたい。	

変更の必要性の有無		
	① 環境方針	継続して方針を遵守する。
	② 環境目標	新規3年度の環境目標の設定。
	③ 環境活動計画	目標変更に合わせて、計画改定の必要性を検討すること。
	④ 環境経営システム	工事部・工務部共少数精鋭でこの体制を維持すること。

代表者	環境管理責任者	報告　年・月・日
田中	新納	2023年7月26日